

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所)

| | | | |
|-----------|--|---------|-------------|
| 事業者名 | グループホーム パストラル (パストラル2) | 評価実施年月日 | 平成19年12月20日 |
| 評価実施構成員氏名 | 小林 弘幸 堀本 佳住 佐藤 千鶴子 池田 篤子 桑原 美弥 高橋 富美子 手坂 圭秀 蛭子 沙織 | | |
| 記録者氏名 | 小林 弘幸 | 記録年月日 | 平成20年1月5日 |

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|------------------------|--|---|--|
| . 理念に基づく運営 1. 理念の共有 | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。 | 事業所独自の理念を作り、掲示している。 | |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | 事務所に理念を掲示している。理念の実現に向けて日々取り組んでいる。 | |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。 | ご家族に対しては、入居相談や契約の際に理念について説明している。地域に対しては働きかけが十分ではない。 | ○ 地域に対して、グループホームの在り様や理念について伝えていく取り組みが必要。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。 | 近隣住民への挨拶等は欠かさず行うようにしている。 | |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。 | 町内会に所属し、班長を務めたことがある。町内会の夏祭り等に参加している。 | |
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 現在は具体的な取り組みは行っていない。 | ○ 介護相談など、今後検討して行っていきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|----------------------|--------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> | | |
| 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> | ○ | 初回以降開催しておらず、定期的な開催を行わなければならない。 |
| 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | | |
| 10 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> | | |
| 11 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|----------------------|-------------------------------|
| 13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 利用者様とのコミュニケーションの中から、意見や不満などを汲み取れるよう努めている。 カンファレンスの際や、都度全職員に周知し、ケアに反映させるよう努めている。 | | |
| 14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。 | 毎月、ご家族宛にお手紙で近況を伝えると共に、金銭出納帳のコピーを送付している。 その他、状況に応じて個々の連絡も行っている。 | | |
| 15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 契約の際に、内外の苦情相談窓口について説明している。また、同内容の文書をホーム内に掲示している。 苦情・相談があった際にはミーティングの際などに全職員に周知している。 | | |
| 16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | ミーティング等の他、随時職員の意見を聞き、日々のケアや業務に取り入れている。 | | |
| 17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。 | 必要に応じて勤務体制の変更・調整を行っている。 | | |
| 18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 異動や離職を最小限に抑えるよう努めているが、離職率は低くない。 利用者様には職員離職の影響を配慮した説明等を行っている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|--|-------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>定期的に社内研修を行っている。また、行政等主催の外部研修への参加を勧めている。</p> | |
| 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | <p>区内のグループホーム会に属しており、研修や連絡会に参加している。</p> | |
| 21 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> | <p>職員からの意見や要望を聞き取るようにしている。 日々の業務の中で、一部に負担が集中しないよう互助を働きかけている。</p> | |
| 22 | <p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p> | <p>個々の努力や実績を評価し、本人に伝えるようにしている。</p> | |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | <p>ご本人への事前の面接や、ご家族・担当者との意見交換を行っている。</p> | |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | <p>ご家族との面接や電話にて相談を受けている。</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|----------------------|---|
| 25 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 利用者様ご本人やご家族の意向を伺い、利用して頂くユニットを決定している。 | | |
| 26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 食事や入浴など、環境に慣れるまでご本人の意向に沿うようにし、ご家族の協力を得ながら、ご本人が安心して生活できる環境作りを行って行く。 | ○ | 希望に応じ、入居前に何度か面接を行い、職員と少しずつ関係を築いた後にご入居していただいている。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。 | 利用者様と一緒に食事をしたり、過去の大切な出来事や生活歴を把握し、職員間で共有して、ご本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。 | | |
| 28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | ご家族の思いなどに共感することに努め、利用者様の生活や身体的・精神的な変化を都度伝え、共に支えていけるよう働きかけている。 | | |
| 29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。 | 面会時間・外出時間等を定めず、ご家族が来訪しやすい環境作りを努めている。 | ○ | ご家族も宿泊できるよう、寝具等を用意している。 |
| 30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 馴染みの関係が在る利用者様には、継続できるよう支援している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|----------------------|-------------------------------------|
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | 利用者様同士が楽しく良い関係を築けるよう、状況に応じた話題の提供などを努めている。 | | |
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 退去後もご家族から了承を得ている利用者様への面会や、ご家族からの相談受付を行っている。 | ○ | 介護用品購入のアドバイスや、ご家族や移転先施設からの相談に応じている。 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常会話・行動から把握し、家族からも情報を得よう努めている。 | | |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ご本人のお話、ご家族・以前利用していたサービスの担当者等の情報から把握に努めている。 | | |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | 日常生活の小さな変化・考え方等、総合的に把握できるよう観察・理解に努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 3ヶ月に1度ケアプラン評価を行っている。カンファレンスにてスタッフ全員が意見を出し合い、ご家族、提携医の意見も取り入れたケアプランを作成している。ケアプラン作成後、ご家族に確認いただいている。 | ○ | ご家族を交えたカンファレンスを行っていきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|----------------------|-------------------------------|
| 37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 利用者様本人に変化があった場合、入退院・事故の発生等の状況、医師からの指示等、その都度ケアカンファレンスやご家族との相談の上介護計画の見直しを行っている。 | | |
| 38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 毎日の個々の介護記録に時間を追って記録し、必要に応じて食事量・水分量・排泄状況等を別紙に記録している。 利用者様の言動等も記録に残し、職員間で情報を共有して介護に活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 利用者様・ご家族からの要望・相談には速やかに対応している。その結果も全職員に伝達される状況を作っている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | ボランティアの受け入れを行っている。 民生委員や近隣住民へも運営推進会議等への参加を呼びかけている。 | | |
| 41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。 | 現状では行っていない。 | ○ | 今後、ニーズや必要性に応じて検討していきたい。 |
| 42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 現状では行っていない。 | ○ | 今後、ニーズや必要性に応じて検討していきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|----------------------|-------------------------------|
| 43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 看護師を職員として確保し、利用者様の日々の健康管理を行っている。提携医による2週間に1度の往診を受けている。 | | |
| 44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 利用者様の発言・行動の変化等を提携医に報告・相談している。 | | |
| 45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 看護師を職員として確保している。利用者様に変化が見られた際には、速やかに報告し、指示を仰いでいる。 | | |
| 46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | 入院期間中は、概ね月に一度または検査等の都度、ご家族、担当医と意見や情報の交換を行っている。 | | |
| 47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。 | 重度化した場合には、カンファレンスや担当医とのムンテラ、ご家族も交えた話し合いを行っている。 | | |
| 48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | 利用者様・ご家族が安心できるよう努めている。観察を怠らず、変化があった場合にはご家族、提携医に速やかに連絡がとれる体制をとっている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|----------------------|-------------------------------|
| <p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | <p>退去後もご家族から了承を得ている利用者様への面会や、ご家族からの相談受付を行っている。 ご家族または他施設職員と情報交換を行っている。</p> | | |
| <p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | |
| <p>50 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p> | <p>介護記録を利用者様の目に触れる場所に置かない。 個人の居室に許可なく他の利用者様が入らないよう対応している。</p> | | |
| <p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | <p>利用者様と買い物に行った際などは、衣類・装飾品・食べ物等、ご本人に自ら選んでいただいている。</p> | | |
| <p>52 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | <p>食事の際など、個々のペースに合わせて時間をとり、また居室等希望の場所で過ごせるよう支援している。</p> | | |
| <p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> | | | |
| <p>53 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p> | <p>爪切り・髭剃り等に留意している。女性の方には化粧なども声掛けや介助等の支援を行っている。 2ヶ月に1度の割合で訪問理容サービスを受けているが、行きつけの美容院などが在る方については同行している。</p> | | |
| <p>54 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> | <p>食事の準備や片付け等を利用者様と共に行っている。 希望に応じて外食等の同行も支援している。 レクリエーションとして出張の寿司サービス等に来ていただいたり、食事を楽しめるよう支援している。</p> | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|-----------------------|---|
| 55 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 飲み物・おやつは状況に合わせて提供している。 現在、お酒・タバコを希望される方はいらっしゃらない。 | <input type="radio"/> | 今後お酒・タバコを希望される方が入居された場合は提供したい。 |
| 56 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 可能な限りトイレで排泄できるよう誘導を行っている。 | <input type="radio"/> | 現在オムツを使用している利用者様も、トイレでの排泄が出来るように支援して行きたい。 |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 本人の希望や体調に応じて入浴して頂いている。 | <input type="radio"/> | 本人の希望を尊重して楽しく入浴して頂きたい。 |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 夜間帯に安眠できるよう、日中の過ごし方についても留意している。 | <input type="radio"/> | 昼寝等も状況に応じて対応していきたい。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 料理や掃除等、ご本人の得意なことを中心に行っていただいている。 | <input type="radio"/> | 生きがいや張り合いのある生活を送れるよう支援していきたい。 |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 買い物に同行し、ご本人の希望される物品を購入できるようにしている。 | <input type="radio"/> | 買い物等を通じて、意欲を引き出せるよう支援したい。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|----------------|---|---|-------------------|---|
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | 散歩・買い物・ドライブ等、活気のある日常生活を送れるよう、本人の状況に合わせて支援を行っている。 | | |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。 | 利用者様の希望を可能な限り尊重し、実現するための方法を職員で検討し、支援につなげている。 | | |
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 電話のやり取りはプライバシーにも配慮し、事務所で行っている。お手紙やファクスを希望される方には、ご本人に書いて頂くほか、必要に応じて代筆も行っている。 | | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 来訪時間は定めていない。 職員は笑顔での対応を心がけ、来やすい環境作りに配慮している。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 研修やミーティングで拘束について話し合っている。また、日々の申し送りの際などにも、職員の対応が拘束に当たらないか話し合い、常に気をつけて支援を行っている。 | | |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | 玄関はオートロック式になっている。 利用者様の外出時には職員が付き添い、安全面に配慮している。 | ○ | 近隣の方々に協力をお願いしたり、職員間で見守りの方法を検討し、鍵の必要ないホームにしたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|----------------------|---|
| 67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | 日中は常にリビングに利用者様が居るので、必ず職員が見守りをしている。居室に居る利用者様にも、訪室し声掛けをしている。夜間は定時に巡回をしており、体調不良が見られる方に対しては回数を多く対応している。 | | |
| 68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 利用者様個人のハサミ・爪切りなどが出っぱなしになっている場合には声掛けの上でしまわせて頂いている。台所の刃物等は夜間は事務所にて管理するようにしている。 | | |
| 69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 一人ひとりの利用者様の状態を把握し、日々の申し送りなどで職員間で話し合い、危険を防ぐよう努めている。 | | |
| 70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。 | 地域の消防署にて応急救護の講習等を受けている。対応マニュアルを用意している。 | ○ | 実際の急変時等への対応に対する不安の声があり、定期的な訓練等を実施する必要がある。 |
| 71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 避難訓練や近隣住民への呼びかけ、また消防署の担当者として1年に1度避難の際の経路や器具の確認を行っている。 | ○ | 実際の災害時の対応に対する不安の声があり、手順の確認等を繰り返し行う必要がある |
| 72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | 利用者様の状態の変化に応じて、ご家族・職員で対応策を検討している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|----------------------------|--|---|--------------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 | <p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p> | <p>毎日職員が協力して利用者の体調を把握し、確認し合っている。 緊急時には提携医に速やかに連絡し指示を仰ぎ対応している。</p> | |
| 74 | <p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | <p>個々の薬を整理し、飲み終わりまで服薬を確認している。</p> | <p>○ 服薬に際しては複数の職員が関わり、誤薬の防止に努める。</p> |
| 75 | <p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p> | <p>排泄チェックを行い、必要に応じて腹部マッサージ等を行っている。</p> | <p>○ 日々の運動等、便秘予防を心がける。</p> |
| 76 | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p> | <p>日々の口腔ケアを行い、清潔を保っている。</p> | <p>○ 可能な限り自力での口腔ケアを支援する。</p> |
| 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>食事量、水分量のチェックを行っている。 食事時の摂取量に応じて間食・水分補給の支援を行っている。</p> | |
| 78 | <p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。</p> | <p>手洗いうがいの励行、トイレ・手すり等の清潔維持を行っている。 ミーティング時に感染症の予防・対策について話し合っている。 感染症発生時に迅速な対応が取れるよう、必要な物品を一まとめにして管理している。</p> | <p>○ 予防を第一に取り組んでいる。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|--|-------------------|-------------------------------|
| 79 | <p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p> | <p>食材は週3回の購入とし、新鮮な食材を使用している。食材の賞味期限・消費期限の厳守を徹底している。</p> <p>台所・調理器具は毎日清掃、消毒殺菌を行い、衛生管理に努めている。</p> | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p> | <p>玄関前に看板を解りやすく表示している。</p> <p>玄関前に花を植えたり、鉢花を置いている。</p> | | |
| 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>利用者様・ご家族にご覧いただけるよう、レクリエーションの写真を貼ったり、利用者様が作った飾り物を展示している。</p> <p>廊下・リビングに季節感を出す春夏秋冬の飾り付けを行っている。</p> <p>パッチワークを飾り、明るい雰囲気作りをしている。</p> | | |
| 82 | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>1階、2階の各リビングにテレビ・ビデオを設置し、利用者様の好む番組・ビデオを流している。</p> <p>リビングは扉を取り外し、利用者様が気軽に出入りして休憩できるよう、開放的な雰囲気になっている。</p> | | |
| 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>居室には利用者様の希望をに応じて、テレビや冷蔵庫も持ち込んでいただいている。</p> <p>ご家族が来訪された時にもゆっくり過ごしていただくため、清掃に気を付けている。</p> | | |
| 84 | <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p> | <p>主に居室で過ごされる利用者様には、こまめに訪室し、換気・気温に気を配っている。</p> <p>リビング等で過ごされる利用者様には声掛けし、室温を確かめ、快適に過ごしていただくようにしている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|------------------------|--|--|--|
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 | <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>建物構造上、バリアフリーにはなっていない。段差などがある部分では注意を促している。 廊下・階段・トイレ等には手摺りを設置している。</p> | <p>○</p> <p>現在、ホームの移転計画が進行中であり、移転先での環境整備にも努めて行きたい。</p> |
| 86 | <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p> | <p>声掛け・誘導の際などは利用者様の理解を確かめながら行っている。 混乱や失敗が生じたときは、時間をかけてゆっくり対応するよう心がけている。</p> | <p>○</p> <p>利用者様の能力の把握に努め、適切な支援を行っていく。</p> |
| 87 | <p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p> | <p>庭に椅子・テーブルを設置。夏季は表で過ごせるようにしている。また、レクリエーションの一環としてバーベキューなども行っている。 利用者様と共に花壇作りなどを行っている。</p> | <p>○</p> <p>現在、ホームの移転計画が進行中であり、移転先での環境整備にも努めて行きたい。</p> |

| . サービスの成果に関する項目 | |
|-----------------|--|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない |

| . サービスの成果に関する項目 | |
|-----------------|---|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 96 | <p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> |
| 97 | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない</p> |
| 98 | <p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない</p> |
| 99 | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> |
| 100 | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない</p> |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

利用者様のニーズに合わせたサービスの提供を行っている(外出・行事参加等)。一年に一度、ご家族も参加できる一泊旅行をしている。